

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	五日市東児童スタークラブ		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2026年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53 (回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2026年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容が体を動かしコミュニケーションを児童同士でとれるよう促す内容になっていること	運動サーキットや伝承遊びの「はないちもんめ」など楽しく体を動かしながらコミュニケーションをとれる活動を取り入れるようにしている	障害の困難さに応じて具体的に内容を変化させたり、マンネリ化しないよう新たなものを取り入れいく
2	児童が主体になって行動できる環境作り	おやつクッキング等、レシピを見ながら自分でやってみる、挑戦できる環境を作り、児童への声掛けを自分で「どうしたらいいか」一度考えられるよう職員で共通した声掛けをしている	スケジュールの固定や、変わらない環境作り、やりたいと思える環境を作っていく
3	日常生活の中でできた！を増やす活動を取り入れていること	洗濯物の畳み方や干し方、クッキングやお皿の洗い方など活動を通して自立に向けて取り組んでいる	一連の流れを繰り返し行ったり、活動の曜日を変えながら色んなご利用者様に経験してもらえる環境を作る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員教育が不十分なところがある	情報共有の仕方や、不安感を感じたまま支援に入る事があった可能性がある。	職員の働きやすい環境作り、方向性の明確化 職員に対しての指示や情報を分かりやすく提示する
2	刺激の入りやすい環境	部屋が大きく一つしかないため	クールダウンする場所を設けたり、小さなパーテーションを準備したりして刺激の多いご利用者様も過ごしやすいよう工夫する
3	保護者の方との連携が足りない部分がある	利用後の連絡など管理者の連絡が足りていない、送り時活動をしていない職員の場合、詳しく様子をお伝えできていない	利用の際様子について再度送迎前に職員同士で確認しあう時間を設ける